



プレミアムフライデー 2月24日(金)に第1回を開催します

静岡商工会議所、静岡市、I Love しずおか協議会などは、経済産業省が推進する「プレミアムフライデー」事業に官民一体で取り組みます。「プレミアムフライデー」とは、月末の金曜日の勤務を15時に終了し、充実したライフスタイルをおくる取り組みです。静岡市では、市民の皆様にご賛同いただける豊かな時間の楽しみ方の提案をめざします。今回は、「プレミアムフライデー」の企画に取り組んでいる(株)静岡伊勢丹の両宮潔社長に話をうかがいました。



(株)静岡伊勢丹 代表取締役社長
両宮 潔さん

働き方改革が 生産性向上を生む

昨年、(株)ライフバランスマネジメント研究所の渡部卓さんから「これからの時代はワークライフ・ソーシャル・バランス。職場と家庭に加えて、地域の様々なコミュニティに参加する、3つの自分を持たないと、メンタルヘルスは保てない」という話を聴きました。

弊社では、2016年4月から営業時間を30分短縮し、閉店時間を午後7時に繰り上げました。「早番」と「遅番」による時間交代制をなくして社員のストレスを軽減したところ、販売員の生産性が向上し、営業時間を短縮したにもかかわらず、売上への影響度は少なく、最近是好調です。

静岡の各企業がそれぞれの業態にあつた働き方改革を行えば、生産性が向上する可能性があるのではないのでしょうか。その結果として、市民が暮らしやすいまちづくりができると思います。

突き抜け感のある ムーブメントに

静岡市民には、にぎわいの中に身を置きたい、おまつり好きが多いです。そこで、既存のイベントの目的を整理してムーブメントをつくり、自分たち自身でアクションをおこなえば、仕事も息抜きもできるコンパクトシティのまちづくりができるのではないかと感じていました。

「プレミアムフライデー」のアイデアを聴いたとき、静岡なら、うまくできると直感しました。ぜひ、突き抜け感のあるムーブメントに育てたいです。

静岡市には、官民一体でまちづくりに取り組むI Love しずおか協議会があり、様々なイベントの開催実績もありますので、この組織を核に「プレミアムフライデー」のイベントを開催していきたいと、静岡呉服町名店街、I Love しずおかが協議会、酒井会頭、静岡市役所の担当に話したところ、皆様から賛同をいただきました。

人とのふれあい、 自分磨きをテーマに

私ども大型店をはじめ様々な団体や企業が丸となって前向きに準備をしています。商工会議所の役員・議員の事業所の皆様には、まず第一歩として、「プレミアムフライデー」の際には、ぜひ15時終業にトライしていただきたいと思えます。

「プレミアムフライデー」は、物販が前面に立つのではなく、ライフスタイル型にして、「人とのふれあい」「自分磨き」をテーマに、働き方の改革や生き方の改善につながる企画にしたいと考えています。

「人とのふれあい」では、ご夫婦、カップル、友達で15時以降、街に来て、デートしたり、ショッピングしたり、食事をしたり、職場でボーリング大会や宴会を開催したり。スマホによるデジタルのコミュニケーションには慣れていくけれど、生身のコミュニケーションは避ける時代になっていますから、「プレミアムフライデー」を使って、

生活や仕事が円滑に行われるようにコミュニケーションを活性化したいです。「おまちバル」等のイベントと足並みを揃えれば「仲間と楽しい」「このまち楽しい」となると思います。

「自分磨き」では、呉服町名店街で開催している「おまちゼミナール」や、パルシエや新静岡セノバのカルチャースタールの評判を念頭に、まちじゅうでコンサルティングをやるうと声をかけたところ、SBS学苑パルシェ校からは「書類整理術」「焼酎の楽しみ方」などオンとオフ各々の場面での自分磨きのメニューが出てきました。

自分の外と内の磨き上げについて皆様に真剣に考えていただければ、いいアイデアが浮かんで、楽しい週末がおくれると思います。その結果として街はショッピングでにぎわうと思います。

弊社では「上質な商品」を提案します。簡単な商品はネットで買えます。リアル店舗で、説明を聴いて、観て、触って、納得のいく買物ができる商品はグレードの高い商品です。最近の消費傾向からも、ハレの日には、いいものを家族で食べて、いい時間を過ごそうという土壌が静岡にあることが分かっています。

「プレミアムフライデー」では、食品やインテリアで、いつもより贅沢な品揃えでステイキングして、お客様の評価が上がったら、普段からの品揃えに反映させて、グレードの高い商品が置いてある店だとお客様に認知していただけるようになるうと考えています。